

令和2年度学校評価報告書

令和3年3月8日

北海道教育委員会教育長 様

北海道旭川永嶺高等学校長
清水 公 久 印

次のとおり令和2年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1 国際的な視野を持ち、社会に有為な人材となるための基礎的な能力及びそれらを活用する能力を育成し、自ら学ぶ態度と確かな学力を養う。
2 郷土を愛し、他者を思いやる豊かな心を育成し、仁愛の精神を養う。
3 社会性・協調性を重んじる中で、健全な人間関係を構築する能力を育成し、未来を生き抜くたくましさを養う。
4 教育の質の維持向上に留意しつつ、教職員の身心の健康が保たれるよう。業務改善や勤務時間管理等を行う。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・授業公開週間、授業改善推進委員会の授業アンケート等取組を通して、各教科の授業改善・評価改善が進んでいる。	・単位制の優位性を生かした授業選択等について更にきめ細かな指導を実施していく必要がある。
改善方策	・新学習指導要領の導入を見据えた授業改善のため、授業改善推進委員会をより活性化させるとともに、総合的な探究の時間の充実を図る。ICTの効果的活用も推進する。 ・放課後の有効活用をはじめ、家庭学習の定着と学習意欲向上に資する取組を推進する。	
生徒指導関係	・特別な配慮・支援を要する生徒が増加傾向にあり、年次コーディネーターの役割が重要性を増している。年次間の連携、特別支援委員会との緊密な連携が必要である。	・生徒指導全般について概ね良好であると評価を受けている。特別な配慮・支援を要する生徒への支援は引き続き重視する必要がある。
改善方策	・いじめの早期発見、早期解消の取組はより重視していく。コロナ禍ではあるが、生徒の自主的な取組も生かし、いじめ根絶のための啓発的な指導に力を注ぐ。 ・特別支援委員会の役割が増しているため、職員室と保健室の円滑な連携を強める。	
進路指導関係	・コロナ禍で年間計画を余儀なく変更せざる得なかったが、放課後講習、長期休業期間講習等に継続的に実施し、大学・短大・高等看護学校へ多数の合格者を生むことができた。	・高大連携をはじめ、外部の教育機関との連携を強化し、系統性をもったキャリア・シラバスの充実を図る。
改善方策	・キャリア・プロジェクトによる高校3年間を見とおしたキャリア教育の計画・推進、本年度から本格実施となった大学入学共通テストへの対応、新学習指導要領導入に向けた対策等を着実に実施する。また、多様な進路希望に備えた校内研修の充実を図る。	
特別活動関係	・生徒の自主性・主体性を育む行事が多く、制約下にあったが、内容や形態を修正しながら実施をしてきた。絆づくりメッセージコンクールも積極的に取り組めた。	・地域連携を意識した活動の充実を進める必要がある。今年度、実施できなかった町内会と連携した取組を次年度は再開させたい。
改善方策	・生徒会の委員会活動の充実を目指す。生徒会執行部だけではなく、各委員会の充実を通して、リーダー性を育む活動の推進を目指す。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
健康・安全指導	・コロナ禍において生徒の自主的・主体性を育みながら、感染症対策にしっかり取り組むことができた。健康管理、教育相談体制については概ね十分と判断する。	・各種アレルギーへの対応等、一人一人の生徒情報を的確に把握し、安全対策を講じる必要性がある。
改善方策	・生徒会の委員会とも連携して、校内外の環境美化に係る啓発を進め、意識を高める。 ・衛生委員会を中心に職場の衛生労働環境の改善を更に進める。 ・AEDに加え、エピペンの取り扱いやアレルギー疾患等への緊急対応の定着についてはリーフレット等を活用した啓蒙を実施する。	
信頼される学校づくり	・ホームページ、年次通信等による教育活動の発信に努めた。 ・PTAや同窓会等との連携に努め、教育活動への理解と協力をいただいた。 ・中学校訪問も積極的に行い、本校の取組に係る理解を広めることができた。	・ホームページの適宜更新、新たに導入した緊急メール等による情報発信を行っているが、地域住民や保護への浸透については課題がある。各種会合等を通して、学校の教育活動の情報発信について周知をより徹底することが必要である。
改善方策	・ホームページや年次通信等の情報については、分かりやすく伝わりやすい内容にすることに努め、タイムリーなものを発信する。緊急メールの効果的活用を推進する。 ・地元町内会や外部機関との連携を緊密にし、地域に積極的な情報発信を行う。	
組織運営	・新設校として5年が経過し、組織体制は整備された。更に機能的な組織運営ができるよう緻密な連携が必要である。	・組織的に教育課題に対応できるよう管理職を中心に日常的なコミュニケーションを重視し、機動的な組織運営に努める。
改善方策	・報告・連絡・相談を緊密に図ると同時に組織として統一性・共通認識を持った学校運営に努める。 ・衛生委員会、将来構想委員会等、職員との個別面談の機能を生かし、働き方改革を着実に推進し、教職員が毎日の教育活動に集中できる環境整備と意識改革を図る。	
公表方法	学校ホームページ、学校評議員会、PTA役員会、PTA保護者懇談会における公表と説明	

3 添付資料

- (1) 令和2年度学校評価（教職員）結果
- (2) 令和2年度学校評価（生徒）結果
- (3) 令和2年度学校評価（保護者）結果
- (4) 令和2年度学校関係者評価（学校評議員）結果